

1. 開催年月日 令和5年7月27日
2. 開催場所 三原駅前キオラスクエア内 サテラス
3. 委員出席  
委員総数 6名  
出席委員数 4名
- 放送事業者出席者  
2名

#### 4. 議題

- ・局からの近況報告
- ・番組審議について

#### 5 議事の概要

#### 6 審議内容

##### (1) 開会宣言

放送事業者からの開会宣言

##### (2) 局からの報告

三原市シティプロモーションの企画番組「アナタ動く！ミハラ動く！」について

事務局より以下の通り報告があった。

事務局「月に1回の放送。三原市シティプロモーションが企画・制作している番組。三原市が提供している番組『教えて三原』の時間帯で月に一回放送している。三原市シティプロモーションの企画で集めたアンケートや企画等の発表を番組内で行う。出演は三原市シティプロモーションの活動を行っている市民団体ミハラスパイスのメンバー。その中のデザイナーチームが中心になって出演している。今回は『これはあなたに知ってほしい！アナタのまちのアナタ的推しフードを教えて！』というアンケートを5月1日～6月30日まで実施。その結果を反映したイベントを7月8日に開催した。」

事務局「市民の声を参考にイベントを企画・開催。このイベントを告知するためにラジオも活用している。出演者全員がラジオ未経験者。月一回の放送。今回聴いてもらった素材は番組がスタートして2回目の放送分である」

A 氏「まだ、話慣れていないように思えた。雑談のような印象を受ける部分もあった。雑談が長くなると話の内容が印象として残りにくくなる。」

B 氏「私も同じように雑談的な雰囲気を感じた。雑談が続くと伝えたい部分がぼやけるように思う。」

C 氏「リスナー（市民）の声を集め、このことを通してイベントを企画・開催する。このこと自体は凄く良い事だと思う。ただ、この番組だけを聴いていると印象が散漫になる。自分が印象に残ったのは『60代の男性がギターを始めるとエモい』。」

A 氏「企画自体はとても良いと思う。ただ、課題はまとめの部分がわかりにくい

- こと。」
- D 氏「出演メンバーがどういう方か、もっとわかるようにしておいた方が良いのではないか。出演者はそれぞれデザイナーとして三原では有名な方。作っている作品も一度は市民が見たことがあるものばかり。このことが伝わっているかどうかで、番組全体の印象は変わる。そのことが伝わるようにした方が良いのではないか。」
- A 氏「確かにメンバーがどういった方かわからなかった。」
- C 氏「出演者が市民生活に関わっていることがわかれば親密度が変わってくると思う。」
- D 氏「ラジオなので、出演者紹介によってくどくなっても良い。毎回、自己紹介をしても良いと思う。」
- A 氏「この番組の対象年齢は？」
- 事務局「幅広く聴かせたいと思っている」
- A 氏「ラジオという媒体の特性を考えると年齢層は高いのではないか？」
- 事務局「高い層が良く聴いているという事は制作者は意識している。」
- 事務局「局の近況としてこのような市民参加型のプロモーションにも携わっていることを報告したい。」

#### 第一号議案「番組審議について」

番組名：中小企業の知恵袋 小さな会社の大きな力

放送日：毎月第一月曜日 15時から16時まで

事務局「番組名『中小企業の知恵袋 小さな企業の大きな力』。中小企業家同友会三原支部のメンバーが集まって企画、制作している。基本的には中小企業家同友会の参加企業を紹介することが大きな目的。また、中小企業家同友会が企画しているイベントなども紹介するようにしている。放送時間は毎月第一月曜日の午後3時から月1回。生放送。」

メインパーソナリティは中小企業家同友会の広報担当が務める。ゲストは毎回2社。ゲスト企業の紹介に加え、ゲスト企業が持っている独自のノウハウを伝えるコーナーがある。また、『ゲスト企業の社員から社長へ聞きたいこと』というコーナーや『プレゼント』コーナーもある。また、生放送であるため、進行役にFMみはらのパーソナリティが参加してる。」

- A 氏「素晴らしい番組だと思った。現在、三原市市内の企業を紹介する機会が少ない。特に中学生、高校生に聴いてもらいたい。三原市にはこんな企業があるということを知ってほしい。自分の将来を考えるのにきっと役立つ。」
- B 氏「良かったと思う。自分も経営者としてとても役に立つと感じた。会社のやりたいことが感じられて参考になった。また、出演者である経営者の様子が見えるのは興味深かった。」
- C 氏「良い番組だと感じた。『暮らしに役立つ情報』が出てくるだけかと思ったら『ちょっとした会社の技術』も紹介された。これは良いと思った。また、出演している企業の家族も聴いてもらえればとても良いと思った。自分の家族の会社がどんなことを普段しているかわかる。家族に仕事内容を知ってもらうのは本当に良いと思う。また、先ほど意見があったが中学生、高校生に聴いてもらいたいと思う。ただ、今の放送時間では中学生、高校生は聴くことができない。それが残念。生放送ということで難しいかもしれないが中学生、高校生が聴くことができるよう考えてみてはどうか。」

- D 氏「三原の企業を知ってもらうためにこういった番組は良いと思う。」  
事務局「出演企業は自社の社員や家族に聴いてもらうように努力している。新しいリスナーが増える可能性があるので局にとってもプラス面は大きい。」  
C 氏「経営者のカジュアルな話が聞ける機会は少ない。とても良いと思う。」  
A 氏「子どもたちにも良い機会になる。将来の仕事選びの参考になる。」

## 第二号議案「要望について」

- 座 長「YouTubeになっている番組をFMみはらのホームページから気軽に聴けるようにした方が良いのではないか。もっと気軽に聴けるようになれば先ほどの中学生、高校生との距離も縮まるのではないか。」  
事務局「YouTube情報はホームページにも掲載している。ただ、まだまだ分かりにくい。改善して行きたい」  
A 氏「SNSで告知した方が良いのではないか。」  
事務局「そういった発信方法についても積極的に取り組んでいきたい。」

- 7 審議機関の答申又は意見に対してとった措置の内容及び年月日  
今後の審議会の中で対応したことについて発表する。

- 8 審議機関の答申又は意見の概要の公表  
公表の方法：事務所への備置き ホームページでの公開  
公表の内容：議題、議事の概要および審議内容  
公表年月日：令和5年7月28日

- 9 その他参考事項  
次回、番組審議会日程 令和5年9月28日